

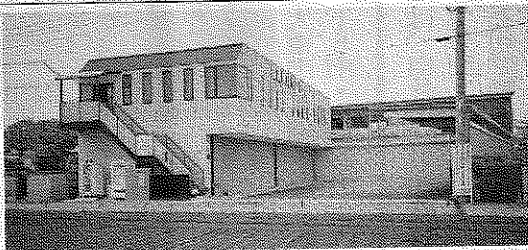
## 実行センター OHSAS18001を取得 労働環境の整備と健康経営を推進

一般・産業廃棄物の収集運搬事業等を手掛ける関東実行センター（栃木県小山市、山本久一社長、☎0285・23・3026）は近年、労働環境の整備に務めている。昨年10月にはOHSAS18001を取得し、今年2月20日には「健康経営優良法人（日本健康会議）」の認証を2年連続で受けた。

OHSAS18001の取得にあたって、

「健康経営優良法人」の認証は、ストレスチェックの実施など10以上の評価項目で構成されている。同社で従来から実施してきた取り組みの内、▽定期健診受診率100%▽全社員を対象とした表彰式

事務所内に休憩室を設置している



▽朝のランジョ体操▽敷地・事務所・車両内での禁煙▽毎月自社発行

している社内報による健康に関する情報発信等が今回の認証につながっている。

収集運搬事業では、一般廃棄物を扱う車両28台について緑ナンバー取得している。また産業廃棄物を扱う車両を加えた全60台の保有車両にデジタルタコグラフを装備し、日々の収集経路の確認を行っている。

事務所にはアルコール検知器（免許証管理システムを含む）を設置している。毎日社

時と退勤前にチェックを行い、基準を超過する場合は事務所内の休憩室で待機させるといった対応を採っている。今まではハラスメントに関する社内相談窓口だったが、今年4月からはメンタルヘルスに関する社内相談窓口の設置を予定している。将来的には介護・子育てまで対応していく計画だ。

山本社長は労働環境の整備について「社員一人一人の健康と安全は事業における基盤で

あり、社員一人一人は重要な経営資源であり、心身ともに豊かになるために必要な取り組みを実施している」と述べている。